

## 事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目	タレント発掘・一貫指導育成事業		
助成事業者名	公益財団法人日本テニス協会		
事業名	トレセンシステム事業		
事業実施期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日 (延べ 51 日間)		
事業の成果	新型コロナウイルス感染症の影響が続き、予定していた規模での事業実施はできなかったが、競技者育成の底辺となる若年層のジュニア選手からトップレベルのジュニア選手まで、ブロックトレセン(新潟・富山・山梨・大阪・兵庫・島根・香川・徳島・愛媛・大分・沖縄)、エリアトレセン(西日本・東日本)を通じて、一貫した育成と強化を実施することができた。		
事業に対する評価	令和3年度も2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くが中止となってしまった。 毎年度、課題として挙げてきた、ブロックとエリアに関する派遣指導者の数を増やすことについては、令和3年度からの本協会の大規模な組織改編により、ジュニアナショナルチームの監督の派遣などの新たな試みもあり、少しずつではあるが改善することができた。		
事業計画及び実績		年度当初計画	実績
	延べ参加者数	1,921 人	607 人
	活動日数	176 日	51 日
	各年代の代表選手輩出数	12 人	0 人
事業の実施方法	第三者への委任(委託等)の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <small>※第三者への委任(委託等)が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること ※営利法人等に請け負わせるものは、委任(委託等)には該当しません。</small>	
	委任先の組織名称		
	委任の内容		
実施した事業の内容	事業は一年間を通じて開催。ブロックトレセンは新潟・富山・山梨・大阪・兵庫・島根・香川・徳島・愛媛・大分・沖縄で、計26回実施した。エリアトレセンは東日本トレセン、西日本トレセンとして各1回実施。ナショナルトレセンや、令和元年度より実施を始めた「Road to NTC」など、ナショナルトレーニングセンターでの実施を予定していたものは、新型コロナウイルス感染症の影響でナショナルトレーニングセンターの利用がトップに限定されていたため、実施を見送らざるを得なかった。		
情報公開	情報の公開方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ※具体的な公開手段を記載してください。 <small>※上記いずれかの公開が必要です。</small>	
	公表した内容(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) <small>※上記いずれかの公表が必要です。</small>	
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法	
備考			